

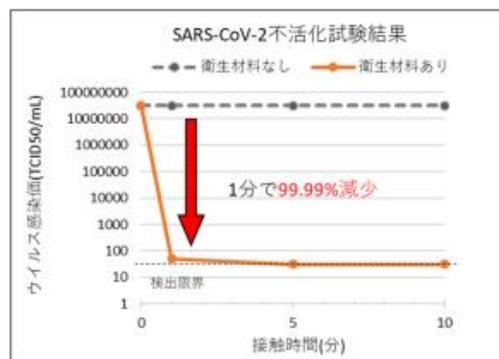
## 接触で作用する衛生材料を開発 新型コロナウイルスやノロウイルスを1分で不活化

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)は、接触により作用する新しいタイプの衛生材料を開発しました。新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)やノロウイルスを1分で不活化し、単一素材で抗ウイルス・抗菌・防カビ性能を発揮することを初めて確認(当社調べ)しました。

本材料は、安全性の高い無機物質(金属酸化物)であり、表面にカビ・菌・ウイルスが接触すると、これらを不活化します。従来の薬剤のように、溶出による作用ではないため、意図しない範囲への作用を抑えることが可能です。銀・銅・その他の有害物質を含まず、欧州化学品庁(ECHA)などの海外の殺生物性物質規制に対応可能な、人体にも環境にも優しい材料です。

### 【本材料の特長】

- ・新型コロナウイルス・ノロウイルスを、接触後1分で99.99%不活化※1
- ・従来の薬剤で効果を望めない真菌・芽胞形成菌・MRSAなどに対しても効果を発揮※2
- ・高濃度であればカビ類に対しても不活化効果を発揮※1
- ・水分が無くても接触により効果を発現
- ・暗闇でも効果を発現
- ・銀・銅・その他の有害物質を含まず、海外の規制にも対応可能
- ・優れた機能持続性・耐久性を有する無機物質
- ・各種インキ・塗料へ対応可能
- ・加工品でも衛生効果を確認(繊維加工品にて真菌の不活化を確認)



試験機関：(株)食環境衛生研究所

※1 衛生性能に関しては、第三者機関・大学病院で評価を実施。ノロウイルスに関しては、ネコカリシウイルスにて代替評価

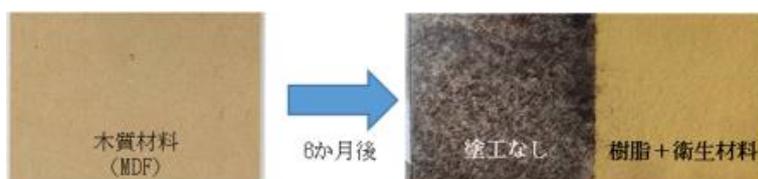
※2 接触1分で90%以上不活化確認:大腸菌・黄色ブドウ球菌・猩紅色白癬菌・枯草菌

／不活化確認:サルモネラ菌・表皮ブドウ球菌・アシネトバクター属菌・緑膿菌・モラクセラ菌・マイクロコッカス属菌

機能性に関しては、材料単体だけでなく、建材・繊維・包装材・雑貨など、さまざまな加工品でも衛生効果を発揮することを確認しています。特に建材分野では、実際の使用環境での実績が重視されるため、フィールドテストによりエビデンスを蓄積しています。



本材料の外観



木質材料での防カビ試験の様子

## 【展開が期待される分野・製品】

建材分野	壁紙・床材・手すり・ドアノブ など
繊維分野	衣料品・タオル・シーツ など
包材分野	梱包資材・容器 など
機械装置分野	フィルタ・タッチパネル・スイッチ・筐体 など
医療介護分野	制服・不織布製品 など
交通機関	つり革・座席・手すり など
雑貨	抗菌消臭スプレー・小物類 など
口腔衛生	口臭対策・歯周病菌対策品 など

本材料は安全性が高く、不特定多数の人々が集まる公共施設・公共交通機関・商業施設でも安心して使用できるため、建材・繊維・包装材・雑貨など身の回りのさまざまなアイテムへの適用が期待されます。また、食品添加物としても検討可能な安全な物質であるため、食器・食品一次容器や口臭・歯周病菌対策など、口腔衛生分野への展開も検討しています。現在、白や透明など色相の異なるタイプの製品開発にも着手しています。

TOMOWEL の共同印刷は、今後も新素材開発に注力し、機能性材料分野での事業拡大をめざします。